

みえ市民活動・ボランティアニュース

ひろげる つなぐ かえる

2013 **5**

2013 年 4 月 25 日発行
通巻 173 号



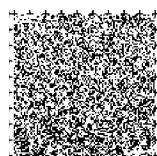
熱中手帖。-これまで×これから- vol.11

特定非営利活動法人 希望の園

理事長／まつさかチャレンジドプレイス希望の園 園長

村林 真哉

下の模様はSPコードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



熱中手帖。

—これまで×これから— vol.11

一人ひとりのクセを、
個性・才能として伸ばす

特定非営利活動法人 希望の園

理事長／まつさかチャレンジドプレイス希望の園 園長

村林 真哉

障がい者の芸術・文化・社会活動を支援したい

NPO 法人の設立と目的についてお聞かせください。

もともと、1981年から松阪市障がい者福祉センター内で小規模作業所をしており、1999年から障がいのある方々の芸術・音楽・文化・社会活動を支援する「まつさかチャレンジドプレイス希望の園」と名称を変え運営を始めました。そして、組織を確立し、支援の枠組みを大きくするために、2005年、NPO 法人格の取得にいたりしました。

芸術や音楽をやりたいという方を幅広く支援するとともに、障がいのある方々の独創的な才能を発掘して育み、より世の中に注目してもらうことで、社会を豊かにしていこうという活動をしています。

地元から海外まで、芸術を通じた幅広い交流と活動

どのような活動に取り組まれているのですか。

普段の活動としては、施設内で絵画や造型作品の制作を支援したり、一緒に音楽をつくったりしています。音楽は、希望の園メンバーが自由にキーボードを弾いたり歌ったりした音を譜面にし、つないでいくという方法で作曲しています。そうすることで、各々の個性や心の動きというものを音楽で表現できるんですよ。

このように自分たちで作詞作曲した音楽でコンサートやCD販売などを行っています。「★バイタリ！松阪人ショー（松阪ライオンズクラブ主催）」というコンサートの実行委員長をしています。

会場で寄付を募り東北の障がい者や松阪市の小規模施設へ寄付をするという活動もおこなっています。

また絵や造型については、基本的に創作は自己実現です。またアーティストの「優しさ」や「激しさ」といった性格や感情、本人そのままを作品を通して伝えることが障がい者アートの魅力であり特徴だと思いますし、本人の持つクセみたいなものを個性にまで引き上げられたらと思っています。才能を開花させるにはその人なりの修練があり時間もかかります。発表する場所や機会が少ないなど、課題も多いのですが、さまざまな展覧会に出展したりすることで、今では多くの人に活動を知ってもらえるようになりました。また自分たちで企画をし、年1回、東京の増上寺で展覧会を10日間にわたって開いたり、2011年にドイツのフランクフルト、2012年は三重県の姉妹都市であるスペインのバレンシアでも展覧会を開きました。地元では、みえ県展などに出展し入賞・入選を果たしています。各々のアーティストが松阪・伊勢・鈴鹿・名古屋などで個展を開いています。これらの展覧会では絵の販売を行い、その収益は次の創作活動の収入源としてもらうため、ほとんどをアーティストへ還元しています。

また、10年以上前から県内在住の外国人との交流をきっかけに、異文化を知ることの大切さや私たちの活動や希望の園アーティストの魅力を海外にも広げていきたいと思い、1999年にカナダのバンクーバーで現地の障がいのある方々との交流を始めました。2002年にはオーストラリアのゴールドコーストでの交流会やフリーマーケットに出店し、2006年には中国の無錫市濱湖区で共同展覧会や音楽会、小学校・老人ホームに交流訪問等を行い、その後松阪市と友好都市提携が結ばれました。現在も、ベトナム・チリ・ポーランド等と、インターネットを使い、音楽を通じた交流もしており、現地の人との交流や制作は今後も続けていきたいと思っています。

国内の地域交流としては、地元の小・中学校を年70回以上訪問し、絵や組みひも、俳句等を一緒におこなう交流会をしています。また、子どもたちが車いすを押させてもらい、まち中へ一緒に出かけるタウンウォッチングもしています。実際に車いすを押させてもらうことで、まちの不便なところに気づいたり、身近にあるユニバーサルデザインを意識してもらうようにしています。逆に、子どもたちが自ら企画した行事に招いてもらったり、地域のごみ拾いなどの環境整備も行っています。

マイナスイメージをプラスに変える

今後めざすものについてはいかがですか。

障がいのある方が、社会の中で、1人で生きていくことは実際大変なことですし、多くの方にとって「障がい」という言葉には、労働ができないなどのマイナスイメージがあるでしょう。そこで現状に屈するのではなく、障がいのある方が持っている独自性を、一つの個性としてプラスに変えていくことの方が大事だと思っています。

私たちは本人の感情を引き出すことで、その人のやりたいことや好み、才能の方向性を見い出します。時には、本人のやりたいことと才能の方向性が食い違うこともあり、本人は葛藤や挫折を繰り返しますが、それによって本来の個性を見つけることができるようになるんです。

芸術活動は、障がいがあってもなくても関係ありません。自分がやるべきことだと思えることで、多くの人々を刺激し、社会を豊かにできるものです。スタッフができる限りのことを手伝い、アーティスト一人ひとりが個性を表現できるようこれからも活動していきたいです。それぞれが持つ才能や個性を伸ばして発揮させることで、他者に貢献できる社会・世界をめざしたいですね。

DATA

特定非営利活動法人 希望の園

住 所 〒 515-2343
三重県松阪市小阿坂町 2253-2
Tel & Fax 0598-67-0486
E-mail hello@kibounosono.info
ホームページ http://www.kibounosono.info/
代 表 者 理事長 村林 真哉
団体設立年月日 1981年4月1日

NPO法人化年月日 2005年2月17日
会 員 数 50名
会 費 入会金 1,000円
年会費 2,000円
(正会員、団体会員、賛助会員、賛助団体会員)
チャレンジド正会員* 1,000円
*チャレンジド正会員：障がいのある会員のこと。

【お詫びと訂正】

本誌4月号の「熱中手帖 vol.10」の「団体紹介 DATA」で、「NPO 法人三重県成年後見サポートセンター」とご紹介しましたが、正しくは「NPO 法人三重成年後見サポートセンター」です。関係者ならびに読者の皆さまにご迷惑をおかけいたしましたことをお詫びすると共に訂正させていただきます。

助成金情報



スポーツ



まちづくり



福祉



子ども



環境

スポーツ

スミセイ

コミュニティスポーツ推進助成プログラム

コミュニティスポーツによる、健やかなひと・社会づくりに向けた調査・研究助成および実践助成

受付期間 5月1日(水)～5月15日(水) 必着

(A) 調査・研究助成

対象団体 応募資格は特に定めない。既存の組織によるもの、他、個人あるいはグループでの応募も可能。研究者と市民・NPO が共同して取り組むプロジェクトを期待する。

対象活動 ①多様な健康ニーズをもつ市民と専門家が協力し、さまざまな年齢や立場を超えて、みんなが楽しみながら作り上げるプロセスを重視した、コミュニティスポーツの開発とその実践手法に関する調査・研究
②疾病や障がいのあるひとと社会参加をめざす若者、子育て世代、高齢者、在住外国人など、健康にかかわる社会的な支援が十分でない人たちを対象にした、コミュニティスポーツへの参加促進と支援方策に関する調査・研究 など

助成金の額 1件あたり50万円～400万円(7～10件程度)

(B) 実践助成

対象団体 次の条件を満たす団体

- ①民間の非営利組織であること(法人格の有無・種類不問)
- ②日本国内に活動拠点があること
- ③原則として2年以上の団体運営および活動実績があること

対象活動 ①子ども世代・親世代・シニア世代の三世代が一緒になって、交流しながら楽しめるコミュニティスポーツをめざす取り組み
②日常的に地域コミュニティやスポーツへの参加が困難な人々と市民が共に支え合い、仲間をつくりながら楽しめるコミュニティスポーツをめざす取り組み
③まちづくり・まちおこしなど、地域の活性化に向けたコミュニティスポーツをめざす取り組み など

助成金の額 1件あたり50万円以下(19～24件程度)

(A)、(B) 合わせて総額 2,200万円

※詳細は HP 参照

応募方法 HPより応募用紙をダウンロードし必要事項を記入の上、原本と複写各1部を簡易書留または宅配便など配達記録の残る手段で送付。

問合せ先 (公財) 住友生命健康財団
「スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム」係
〒540-0001 大阪市中央区城見 1-4-70
住友生命 OBP プラザビル 10 階
Tel 06-6947-3140 (米原・杉本)
Fax 06-6947-3142

HP <http://www.sumitomolife.co.jp/csr/kouken/kenkou/sport2013.html>

まちづくり

平成 25 年度 みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金募集

地域の賑わいをあなたのアイデアで～くらし作りはビジネス創り～

受付期間 第1回…4月15日(月)～5月17日(金) 17:00 必着
第2回…9月25日(水)～10月25日(金) 17:00 必着

対象団体 三重県内に主たる事務所または事業所を有する次の者
①創業者
②新事業を行おうとする中小企業者
③NPO(法人格要)や大学等で新事業を行おうとする者
※③については助成金総額の3割未満の範囲で対応

(A) 地域資源活用型

対象活動 地域の多様な主体によって実施される地域特有の資源を有効活用した取組を図る地域資源活用型の事業

- ①中小企業地域資源活用促進法に基づき、県が指定した特定地域資源を活用した取組による商品づくりやサービスの提供
- ②知名度は低いものの、地域の特徴的な農林水産品、加工技術や観光資源で、新たな価値を見出し、今後の地域資源法による指定の可能性のある地域資源を活用した商品づくりやサービスの提供

助成金の額 1件あたり50万円～400万円
(助成率 2/3、助成期間 2年以内)

(B) 地域課題解決型

対象活動 地域の課題を解決するための事業を、新たに地域の特性を生かし、ビジネスの手法によって取り組む事業

助成金の額 1件あたり50万円～200万円
(助成率 2/3、助成期間 1年以内)

応募方法 HPより「みえ地域コミュニティ応援ファンド助成金交付事業実施計画書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ指定の関係書類を添付して、正本1部と複写2部を郵送または直接持参。
※詳細は HP 参照

問合せ先 (公財) 三重県産業支援センター地域産業創造課
〒514-0004 津市栄町 1丁目 891
三重県合同ビル 5 階
Tel 059-228-3585 Fax 059-228-3800

HP tisansou@miesc.or.jp

HP <http://www.miesc.or.jp/cb-fund/>

【同時募集】みえ農商工連携推進ファンド助成金

HP <http://www.miesc.or.jp/noushoukou/>

福祉

みずほ教育福祉財団

第 30 回「老後を豊かにするボランティア活動資金」

受付期間 5月24日(金) 当日消印有効

対象団体 地域社会で高齢者のための活動を行っているボランティアグループで、次の条件を満たすもの(法人格を有する団体は対象外)

- ①ボランティア数 10人～50人程度
- ②結成以来の活動実績 2年以上

対象活動 ①高齢者支援を目的として地域で実践している活動
②地域の活動で内容が先駆的かつ他の範となる活動
③今日のニーズに対応した内容で継続性の高い活動

助成金の額 1 グループにつき 10 万円を限度とし、150 グループ程度を予定。

応募方法 HPより申請書をダウンロードし必要事項を記入の上、都道府県・指定都市または市区町村社会福祉協議会の推薦を得て、郵便にて送付。

問合せ先 (財) みずほ教育福祉財団 福祉事業部長 羽鳥
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-5
みずほ銀行内
Tel 03-3596-4532 Fax 03-3596-3574
E-mail FJP36105@nifty.com
HP <http://www.mizuho-ewf.or.jp/>

子ども 環境

高原環境財団

緑化活動&子供たちの環境学習活動 助成

受付期間 5月24日(金) 必着

(A) 緑化を伴うヒートアイランド対策に関する助成

対象団体 日本国内に所在する法人、地域活動団体

対象活動 申請者が、①屋上、②建物の外壁面、③駐車場、④空地、等で行う新たな緑化事業で、樹木、芝、多年草等を植栽するもの。 ※詳細は HP 参照

助成金の額 新たな緑化を行うのに必要な工事費用(本工事費および付帯工事費)の70%で、200万円を上限とする。総額600万円。

(B) 子供たちの環境学習活動に対する助成

対象団体 日本国内の保育園、幼稚園、小学校および子供会、町内会等の地域活動団体

対象活動 申請者が小学生以下の子供を対象に行う、緑化や自然体験などの環境保全に関する体験・学習活動

助成金の額 助成対象活動を行うために必要と認められる費用で、50万円を上限とする。総額400万円。

応募方法 HPより助成金交付申請書類(様式1～4)をダウンロードし必要事項を記入の上、指定の書類を添付して正副2部を郵送。

問合せ先 (公財) 高原環境財団
〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-27-1301
Tel 03-3449-8684 Fax 03-3449-2625
E-mail mail@takahara-env.or.jp
HP <http://www.takahara-env.or.jp/bosyu/index.html>

環境

イオン環境財団

第3回 生物多様性 日本アワード

受付期間 5月31日(金) 必着

対象団体 日本国内に在住する団体・組織・企業・個人(複数団体・組織による共同の取組も対象とする)

対象活動 ①生物多様性の保存
森林、河川、沿岸域等の生態系の保全、野生生物の保護や生息・生育地の保全、保護地域等の自然再生・維持管理、ならびに、それらの地域の有機的なつながりの確保に資する取組およびそれらに関する研究開発

②生物多様性の持続可能な利用
生物多様性により供給される食料・生物資材やサービス・景観等、自然の恵み(生態系サービス)の持続可能な利用に資する取組およびそれらに関する研究開発

③生物多様性の普及・啓発
生物多様性の保全と持続可能な利用に関する普及と理解促進、学習、教育等の推進に資する取組およびそれらに関する研究開発

表彰 ◎グランプリ … 表彰状と副賞 200万円(1件)
◎優秀賞 … 表彰状と副賞 100万円(4件)

応募方法 HPより応募書類をダウンロードし必要事項を記入。指定の必要書類とともに送付。 ※詳細は HP 参照

問合せ先 第3回 生物多様性日本アワード 実行委員会 事務局(公財) イオン環境財団
〒261-8515 千葉市美浜区中瀬 1丁目5番地1
Tel 043-212-6022 Fax 043-212-6815
E-mail ef@aeon.info
HP <http://www.midoripress-aeon.net/jp/award/index.html>

子ども 福祉

大同生命厚生事業団 ボランティア活動助成

受付期間 5月31日(金) 必着

対象団体 (A) サラリーマン(ウーマン) ボランティア活動助成

社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするサラリーマン(ウーマン)の個人もしくはそのグループ。(グループの場合、サラリーマン(ウーマン)がグループ全体の80%以上であること)

(B) シニアボランティア活動助成

社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするシニア(年齢60歳以上)の個人もしくはそのグループ。(グループの場合、シニアがグループ全体の80%以上であること)

対象活動 ①高齢者福祉に関するボランティア活動
②障害者福祉に関するボランティア活動
③こども(高校生まで)の健全な心を育てる交流ボランティア活動で、内容に先駆性、継続性、発展性があり、効果が予測できるもの。

助成金の額 総額600万円以内。1件 原則10万円。
内容が優れている場合は20万円限度で助成。

応募方法 HPより申込書をダウンロードし必要事項を記入のうえ郵送。 ※詳細は HP 参照

問合せ先 (公財) 大同生命厚生事業団 事務局
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目2番1号
Tel 06-6447-7101 Fax 06-6447-7102
E-mail info@daido-life-welfare.or.jp
HP <http://www.daido-life-welfare.or.jp/subsidize/index.htm>

E-mail info@daido-life-welfare.or.jp **HP** ホームページ

助成金コーナーの情報は、弊センターホームページ
<http://www.mienpo.net/center/> でもご紹介しております。

募集とご案内

だれでもできる 明るくなれる ゆかいな健康法

笑いヨガ体験会

日時 5月4日(土・祝) 10:00～11:30

場所 みえ県民交流センター
イベント情報コーナー
アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

対象 どなたでも ※申込不要

参加費 500円(東日本大震災の復興
支援活動資金に充当)

持ち物 水分補給用の飲みもの

問合せ先 三重ラフター(笑い) ヨガクラブ
Tel 059-230-4077(加藤)

環境学習指導者養成講座

「環境基礎講座」参加者募集

環境をいろいろな視点から考え、幅広く
環境問題について学びます。環境問題
の解決に向けて、地域で環境活動をは
じめてみませんか?

日時 ①6月1日(土)「環境問題と水環境」
②6月8日(土)「公害と大気汚染」
③6月15日(土)「ごみ問題」
④6月29日(土)「自然・森林」
⑤7月6日(土)「地球温暖化」
⑥7月13日(土)「ESDと環境学習」
すべて10:00～16:15
※詳細はHP参照

場所 サン・ワーク津(津市島崎町143-6)

対象 18歳以上で環境保全に関心
のある方

募集人数 各回25名 ※応募多数の場合
は抽選(三重県内在住の方を優先)

参加費 無料

申込締切 5月11日(土) 必着
※締切日以降も、空き状況に応じて受付

応募方法 Fax、郵便、E-mailのいずれかで、
講座名と全日程参加または参加
日程とテーマを選択し、氏名・郵
便番号・住所・Tel・Fax番号を連絡

問合せ先 三重県環境学習情報センター
〒512-1211 四日市市桜町3684-11
Tel 059-329-2000
Fax 059-329-2909

HP info@eco-mie.com

HP [http://www.eco-mie.com/kouza/25/
kannkyo_kiso25/index.html](http://www.eco-mie.com/kouza/25/kannkyo_kiso25/index.html)

原発シンポジウム

～一から考えよう・パート3～

見えないものをなきものにし、人々が
忘れることを待ち望んでいる者たちが
勢いを増しています。このただならぬ
事態を、私たちは恐れなければなりま
せん。一緒に考え、語り合しましょう。

【プログラム】

・報告…各20分で問題提起

①放射性廃棄物

②政治の中での原発

・休憩10分…質問・発言カード集約

・会場からの質疑・討論

日時 5月12日(日) 13:30～16:00

場所 じばさん三重 2階研修室6
(四日市市安島1-3-18)

対象 原発に興味のある全ての方

参加費 無料 ※申込不要

主催 脱原発四日市市民の集い・連
続シンポジウム実行委員会

問合せ先 Tel 090-1414-4450(大野)

乳がん患者の会「あけぼの会」

第29回「母の日キャンペーン」 乳がん検診啓発運動

毎年、乳がん患者の会「あけぼの会」
では、母の日の正午、一般の方々に「乳
がん検診を受けましょう」というキャン
ペーンを全国一斉に実施しています。
あけぼの会三重支部ではJR津駅交
番前付近で、ピンクのブルゾンをか
いた会員が、自己検診の仕方を書いた
ティッシュ1,000個を配布致します。

日時 5月12日(日) 12:00～13:00頃まで

場所 JR津駅前交番付近

問合せ先 あけぼの会三重支部
Tel 090-2944-4773(小野)、
090-4211-9947(西村)

カラダいっぱい遊ぼう! 学ぼう!

フ ェ ス テ ィ ヴ ァ ル

Fata festival vol.3

みんなでスマイル! ころもカ ラダもバリアフリー!

障がいの有無、年齢、国籍などさま
ざまな壁を取り払い、だれもがだれと
でも交流。海や丘でのさまざまなアク
ティビティ、ワークショップ、食を通し
て楽しみながら学ぶ。人と関わり、自
分のまだ見ていない能力、感性を感じ
ていただきます。

☆海で遊ぼう!

カヤック、クルージング体験など

☆ワークショップ!

アロマキャンドルづくり、防災体験など

☆ボディーセラピー!

ネイルアート、オイルマッサージなど

☆ヤムヤムマーケット!

三重のこだわり野菜、いろんな国の

いろんな美味しさ満喫

☆ライブ!

エネルギー溢れる演奏、楽しいバンドが勢揃い

日時 5月12日(日) 10:00～16:00
※雨天の場合は、5月19日(日)
に順延

場所 マリーナ河芸
(津市河芸町東千里854-3)

参加費 入場無料

主催 (特活) CORORO

後援 三重県津市・津市教育会、
(特活) 海の達人

問合せ先 CORORO(いづみ)
Tel 059-255-5146

HP npo.cororo@gmail.com

平成25年度みえ文化芸術祭

第64回みえ県展

県内最大規模の公募美術展覧会
日本画、洋画、彫刻、工芸、写真、書
の6部門から入選作品を展示

日時 5月18日(土)～6月2日(日)
9:30～17:00(月曜休館)
※土曜日は19:00まで、最終
日は15:00まで

場所 三重県文化会館
ギャラリーおよび大会議室

入場料 一般200円、学生無料
※5月26日(日)は『県民文
化祭総合フェスティバル』の
ため入場無料

【関連企画】伊賀移動展

県展入賞作品および伊賀市、名張市
の入選作品を展示

日時 6月12日(水)～6月16日(日)
9:00～19:00
※最終日は16:00まで

場所 ハイトピア伊賀5階

入場料 無料

主催 みえ県展運営委員会・三重県・
(公財)三重県文化振興事業団

後援 三重県教育委員会・三重県市長
会・三重県町村会・(公財)岡田
文化財団・中日新聞社・(株)百五
銀行・中部電力(株)・JAバンク三重

問合せ先 三重県文化会館
Tel 059-233-1122

HP [http://www3.center-mie.or.jp/
center/bunka/concept/kenten.html](http://www3.center-mie.or.jp/center/bunka/concept/kenten.html)

自宅の庭先やベランダで電気も収穫!

手づくりミニ太陽光発電ワーク ショップ&これからの新しい暮 らしを考える集い

最近NHKテレビやラジオで紹介されて
いる相模原の藤野電力さんと、手軽に
できる独立系システム作り。停電の時

営利団体の利用区分・利用料金の変更について

みえ県民交流センター指定管理者：(特活) みえNPOネットワークセンター

いつも“みえ市民活動ボランティアセンター”をご利用いただきありがとうございます。

2013年4月1日より、企業等営利団体の利用区分・利用料金について、以下の通り変更となりました。ご理解の上、引き続きご利用いただきますようお願い致します。 ※営利団体以外については従来通りです。

変更後

	利用料金（1時間あたり）
交流スペースA	5,000円
ミーティングルームA	1,000円
ミーティングルームB	1,000円

*変更後は1時間あたりの利用料金となります。

<営利団体利用のルール>

- ①利用日の3か月前から予約可能です。
- ②利用の基本は会議や研修での使用とします
- ③当日キャンセルの場合は利用料金の100%を申し受けます。
- ④利用時間が1時間に満たない場合も1時間の利用とします。

ぜひお役立てください！「夢をかたちにするまちづくり～『新しい公共』のヒント集～」完成

「新しい公共」とは、これまで「公共＝官」と公共性を捉えていたものを転換し、民が公共に関わることを積極的に進めようとする考え方です。そして、多様化するニーズに対応する新しい三重づくりでは、行政の力だけでなく、県民の皆さんにアクティブ・シチズンとして、力を発揮していただくことが必要だと考えています。

このたびとりまとめた「夢をかたちにするまちづくり～『新しい公共』のヒント集」は、県民誰もがアクションを起こせるための提案であるとともに、参考となる豊富な事例（約90件）をまとめた冊子です。作成にあたっては、約1,000人の方々に議論に参加していただき、「協創」の社会を実現するための「ヒント集」として整理しました。

「ヒント集」の完成はゴールではありません。いかに活用していくかが重要であり、県民の皆さん、NPOや企業その他さまざまな団体の皆さんが、「ヒント集」の趣旨や内容をよく理解していただくことによって、県民の皆さんが行動を起こすきっかけになったり、NPO等がこれまで以上に積極的に活動を展開していく際のよりどころになればと期待しています。

ぜひ、皆さん「ヒント集」を手にとって読んでみてください。

・「夢をかたちにするまちづくり～『新しい公共』のヒント集～」(表紙とも全132ページ)

主な配置場所 みえ県民交流センター(アスト津3階)、各市役所・町役場、各県総合庁舎等



問合せ先 三重県男女共同参画・NPO課
Tel 059-222-5981

でも携帯の充電・パソコンの起動などが可能です。

第一部(10:00～11:00)

新しい暮らしとエネルギーを考える
内藤正明さん(京都大学名誉教授・鈴鹿カルチャーステーション名誉館長)と藤野電力の方を囲んで一緒に考えます。

第二部(11:00～16:00)

手づくりワークショップ BY 藤野電力

日時 6月3日(月) 10:00～16:00

場所 鈴鹿カルチャーステーション
(鈴鹿市阿古曽町 14-28)

対象 学生～シニアの方まで男女問わず関心のある方

募集人数 組立参加者10名、見学者20名

参加費 組立参加者…42,800円
(持帰り用50Wソーラーパネル1枚、チャージコントローラー、バッテリー、インバーター、ソケット)
見学者…1,500円

主催 (特活) 鈴鹿循環共生パーティー

共催 (一社) 鈴鹿カルチャーステーション・(特活) 循環共生社会システム研究所

問合せ先 (特活) 鈴鹿循環共生パーティー
Tel&Fax 059-389-6603(片山)

メール scsoffice@scs-3.org

HP <http://www.suzuka-jp.org/>

E-mail **HP** ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました！掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

- (1) フォーマットに必要な事項を入力の上、毎月10日までに送ってください。
- (2) E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ 原稿用 フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえNPOネットワークセンター」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに” “みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

「協創応援!新しい公共ヒント集交流会」の事業報告

平成25年3月23日(土)に、津市の四天王寺本堂にて、「協創応援!新しい公共ヒント集交流会」を開催いたしました。ヒント集とは、県民が力を合わせることによって「今までできなかったことができるようになる」ために大切なことを、豊富な事例とともに整理した冊子で、平成23年より県内各地で多様な主体が対等な立場で議論し、三重県と新しい公共円卓会議がとりまとめた「県民の文書」です。

そのヒント集をもっと広め、活用していくために行われた交流会当日は、26名の参加者にお集まりいただきました。各自の活動の紹介をしながら、ヒント集への想いを語りあい、終始和やかな雰囲気で行われました。さまざまな業種の方が集まったことで、いろいろな意見やアドバイスが飛びかい、名刺交換や情報交換など、参加者同士の積極的な交流で、より深いつながりをつくっていただけたのではないかと思います。ヒント集のPRや広報のための前向きなメッセージを発信し合う場となりました。



県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

◀Monthly Selection▶

◆市民活動Q&A集 平成24年度千葉県県民活動促進事業「県民活動基盤強化事業」

監修: 川北秀人 IHHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表
編集: NPO支援組 編集担当: 特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
発行: 千葉県環境生活部県民交流・文化課
発行日: 2013年3月

◆三重からみえる未来の絆

第21回全国ボランティアフェスティバルみえ報告書

発行: 第21回全国ボランティアフェスティバルみえ推進委員会
事務局: 社会福祉法人三重県社会福祉協議会内
発行日: 2013年2月

◆第21回全国ボランティアフェスティバルみえ学生PJ報告書

発行: 社会福祉法人三重県社会福祉協議会
三重県ボランティアセンター
発行日: 2013年2月

◆夢をかたちにするまちづくり～「新しい公共」のヒント集～

編集・発行: 三重県・新しい公共円卓会議
発行日: 2013年3月

認証した特定非営利活動法人 (2013年3月10日～2013年4月9日認証分)

①認証団体名②法人事務所の所在地③活動分野④認証年月日⑤代表者

①特定非営利活動法人
桑名失語症渡しの会
②桑名市大字和泉1233番地1
③保健、まちづくり、学術
④2013年3月11日
⑤理事長 林 淳藏

①特定非営利活動法人
津学童保育総合センター
②津市香良洲町3762番地5
③子ども、その他、障がい者の自立と共生社会
④2013年3月11日
⑤理事長 清水 美津代

①特定非営利活動法人
四日市まんなかどもステーション
②四日市市西町2番12号
③保健、社会教育、まちづくり、学術、子ども、その他
④2013年3月11日
⑤理事長 油田 千鳥

①特定非営利活動法人
元気アップこものスポーツクラブ
②三重郡菰野町大字菰野4775番地1
③保健、社会教育、まちづくり、学術、災害、子ども、その他
④2013年3月19日
⑤理事長 内田 俊哉

①特定非営利活動法人
三重緊急医療情報管理機構
②津市江戸橋2丁目174番地
③保健、災害、情報化社会、職業能力、その他
④2013年4月4日
⑤理事長 今井 寛



「NPOから寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月10日です。掲載希望の方は10日までに情報をデータでお送りください。(詳細6ページ)

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】津市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市市民活動センター/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター/三重中央大学 (伊勢市)いせ市民活動センター/皇学館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカルー光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野])/三重県米町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽/パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

**健康・安心・貢献
東海ろうきん**

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連



環境にやさしい植物油インキを使用しています。